

心とこころ

第34号

社会福祉法人
熊本県手をつなぐ
育成会 発行
熊本市中央区南千反畑町3-7
熊本県総合福祉センター2F
TEL・FAX(096)352-4149
令和4年7月1日発行

「三年ぶりの県大会 荒尾で会いましょう」

(本人部会はオンラインで)



社会福祉法人
熊本県手をつなぐ育成会
会長 川村隼秋

暑中お見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの第六波のピークが過ぎ、感染者数は大型連休後の一時期を除き減少傾向が続いていましたが、6月後半には横ばいから緩やかな増加傾向となり、まだまだ油断はなりません。政府はコロナと共生しつつ社会活動を正常化する「ウィズコロナ」に向けて、働き方改革と生産性を向上させるものとして、テレワーク推進を掲げています。育成会活動も社会環境の変化に対応していく必要があります。

令和2年度と3年度の県大会はコロナのために開催を断念しましたが、本年度は3年ぶりに荒尾市育成会との共催により、荒尾総合文化センターで開催します。日時は7月24日の日

曜日、午後1時から、表彰並びに絵手紙コンテスト入賞・入選作品紹介と記念講演(全国育成会常務理事の又村あおい様)を実施し、ユーチューブによる配信を併せて行います。本人部会は、同センターで午後2時より「きいてよ 私の気持ち」をオンラインによる発表と意見交換を行います。その他、地域育成会・事業所から活動の様子をビデオメッセージとしてユーチューブ配信します。

(大会開催の趣旨は次のとおり)

熊本地震から6年が経過しましたが、この地震では、障がい者に対する合理的配慮や地域住民との日常的なつながりの重要性が再認識されました。また、平成28年に起きた神奈川県の障害者支援施設における殺傷

事件に関して、背景や原因は決して被告個人だけの問題にとどまらず、広く社会全体と課題を共有し、ともに解決していく必要があります。これらの事案を風化させることなく、障がいのある人に対する正しい理解と啓発をすすめ、誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現をめざしていかなければなりません。

また、令和3年度から施行された障害福祉サービス等報酬改定において、知的障がいのある人の地域生活支援がより一層推進されることも含め、知的障がいのある人と家族が地域で安心して暮らすことができる取組を進める必要があります。

しかし、令和2年当初から広がりはじめた新型コロナウイルス感染症の影響による社会環境の変化で、これまでの集合型の大会や会議が著しく制限を受けるようになりました。現在では、徐々にオンライン会議システムの活用が広がり、いわゆる「ウィズコロナ」の時代にあっても育成会活動を途切れることなく展開する取組が求められます。

3年ぶりの開催となる荒尾市大会は、スローガンを「新型コロナウイルスに負けない地域づくり」と掲げ、コロナ禍という厳しい社会情勢の中でも、人とのつながりを感じることでできる地域づくりを、育成会活動を通じて進めてまいります。

心の声

「共生社会とは」

私は、昨年3月に障がい者支援施設を定年退職したが、在職中、最も衝撃を受けたのは、『津久井やまゆり事件』であった。加害者の「障がい者は社会に必要な」という主張のどこに思想的欠如があったか。

そもそも、社会は「競争」と「共感」から成り立っている。競争がなければイノベーション(技術革新)はなく、経済は成長しない。税収も伸びず福祉財源は枯渇する。だが、必然的に「勝者」と「敗者」に分かれ、社会の安定が崩れかねない。

一方、私達は人生の中で様々な不幸に直面する。思いもかけずケガや病気をし、親しい人を亡くして、自身も高齢化と向きあう。そこに他者への思いやり「共感」が生まれ、心が通い、温かな気持ちが生きる糧(かて)ともなる。

したがって「競争」と「共感」は、車の両輪のごとく社会を存続させてきたと思う。

はたして、障がい者は世の中から排除されるべきなのか。熟考すると、障がいのある人達が社会の仕組みを支えている面も否定できない。

「人間尊重」の理念は、障がいの有無にかかわらず、共同体が生み出した「知恵」かも知れないのではなからうか。

特集

育成会活動の活性化に向けて

令和 3 年度に、地域育成会の取組状況や直面している課題について調査を行い、改善策等を検討してきました。その概要をお知らせします。まずは、出来るところから進めてみましょう。(令和 4 年度も継続して検討を行います)

地域育成会活動における課題(抜粋)

<会員の加入>

- 【加入者】(増：3 現状維持：2 減少：7)
 - ・意義を感じる若い人が少ない
 - ・コロナのため休止中
- 【執行役員の課題】(有：3 無：8)
 - ・世代交代ができず長期化・高齢化
 - ・学校在学中の保護者役員が激減
- 【情報発信手段】
 - ・HP、FB (活用：2 未：8)
 - ・各種保険 (活用：1 未：9)

<収入の状況>

- 【収入】(増：3 現状維持：2 減：8)
 - ・コロナ禍で正会員、賛助会員が減少
- 【公費支援】(増：0 現状維持：4 減：6 なし：3)
 - ・毎年見直しあり (5%減)
 - ・コロナ禍の影響で減額(財政難、活動実績がない)
- 【心のとも運動への学校の協力】(有：5 無：6)
 - ※(「手をつなぐ」の購読も含む)
 - ・協力校が減少(金銭の取扱い、教師の負担増)

<理解啓発>

- 【啓発活動】(実施：7 未：6) ・育成会としての発信が少ない ・学校へ啓発ができていない
- 【啓発キャラバン隊】(実施：1 未：8) ・実施の体制が整っていない
- 【地域資源開発推進ハンドブック活用】(実施：1未：7)

※ R3.7 月の調査 (数字は回答育成会数)

課題の整理

- 育成会への加入をすすめる際、特別支援学級 (又は特別支援学校) に在籍する児童生徒の保護者へのアプローチが難しい。
- 保護者をはじめ関係者・関係機関に育成会活動の意義やメリットが伝わっていない。

対応策・アイデア(例)

<加入を促進する>

- 【特別支援学級保護者】
 - ・PTA役員との会合
 - ・心のとも運動への協力
- 【学校・校長・特別支援学級担任】
 - ・訪問して説明(校長、地域の特研会長)
 - ・リーフレット配布依頼(保護者等)
 - ・本人活動の協力依頼
- 【市町村・行政】
 - ・広報誌掲載(活動・加入募集)
 - ・展示コーナー(障害者の作品)
 - ・出前講座に相談会を登録
- 【催し物・情報発信】
 - ・知りたい情報を提供
 - ・合同研修会開催(特別支援教育部会・育成会)
 - ・研修会やイベント紹介、参加働きかけ

※ R4.1 月の意見集約による

<育成会活動の充実・発展>

- 【市町村への働きかけ】
 - ・広報誌掲載(知的障害の特集)
 - ・障害者の絵(ポスター、広報誌)
 - ・リーフレット配置(役所・郵便局等)
- 【地域への働きかけ】
 - ・小中学校へ絵手紙コンテスト募集
 - ・地域イベント(販売会等)参加
- 【キャラバン隊による啓発】
 - ・各地域で発足(研修・実践)
 - ・学校への働きかけ
- 【情報発信】
 - ・加入のメリットを広報
 - ・HP、FB、YouTube を活用
- 【資金調達】
 - ・育成会応援企業、スポンサーの募集
- 【研修・会合の活用】
 - ・視察研修、見学、会員相互の親睦

<育成会活動を伝える>

- 【会合の開催・参加】
 - ・研修会、「気軽に相談会」、意見交換会
- 【広報活動】
 - ・リーフレット、広報誌、「手をつなぐ」
- 【行事参加】
 - ・地域イベント参加 ・主催行事への呼びかけ
- 【意見聴取】
 - ・アンケート(特別支援学級)
- 【情報の発信】
 - ・HPやFBを活用 ・入手した情報の提供
 - ・会員の声を集約

令和4年度 熊本県手をつなぐ育成会 法人本部事業計画（要旨）

1 基本主題 「誰もが住みなれた地域で、安心して暮らせる社会の構築」

2 本年度テーマ

- ①知的障害者に対する正しい理解・啓発
- ②令和4年度熊本県手をつなぐ育成会大会荒尾市大会を「荒尾市手をつなぐ育成会」と連携して開催
- ③「2022 障害のある人もない人も共に生きる絵手紙コンテスト」の開催
- ④地域育成会の活性化と会員の増員について引き続き検討
- ⑤育成会事業所と連携を強化して活動を支援
- ⑥必要に応じてオンラインによる研修会や会議を併用

3 重点事項

- 知的障害者の理解・啓発事業の推進
 - ・県育成会大会荒尾市大会における啓発
 - ・「2022 障害のある人もない人も共に生きる絵手紙コンテスト」の開催
 - ・知的障害者相談員・生活協力員との連携及び研修会の実施
 - ・地域育成会との連携による“啓発キャラバン隊”（疑似体験）の実施

- 地域育成会の活性化と会員の増員
 - ・取組の方向性、会費のあり方についての共通理解
 - ・地域育成会と県育成会との連携強化、地域育成会相互の情報共有
 - ・本人活動の組織化並びに活性化支援、施設協会からの情報収集

- 各種災害時の対応と被災者への支援

- 障害者関係諸制度策定への提言

- 就労支援事業の推進
 - ・事業所協議会研修会の実施

- 新型コロナに関する情報提供

- その他

- ・ふれあい喫茶「りんどう」の運営

- ・県育成会からの情報発信（県育成会便り「ともに」、HP・FBによる紹介）



【参考】『地域育成会の活性化のために』

（全育連 久保厚子会長：全国大会「熊本大会」分科会の講話資料から抜粋）

<活性化に向けて>

- 組織が元気であること
 - ・会員がやりたい、興味のある、楽しくできる事業
- 地域に対する育成会のイメージアップ
 - ・特色を出した奉仕活動、地域に喜ばれる活動
- 元気なチームが組織を動かす
 - ・会員が「課題をどのように解消していくか」を考えて行動
- 育成会は連合体
 - ・それぞれの育成会が目標を達成すべく、元気なチームを作り活性化

《育成会活動を伝える》



特別支援学校知的障がい教育校長会で育成会活動について川村会長から説明（R4.4月）

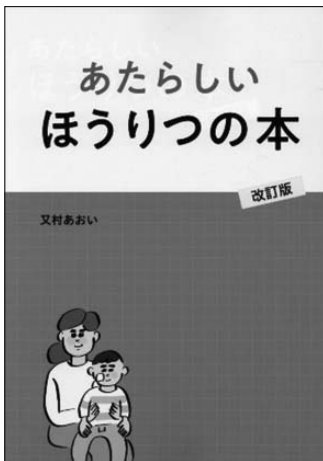
<そのために大切なこと>

- ①会員のニーズに沿った視点
- ②会員のメリットにつながる活動（会員の互助も視野に入れて）
- ③リーダーは、メンバーの主体性を重視していること
- ④メンバーは、自ら考え・行動すること
- ⑤メンバーは、自分の考え（仮説）を活発に共有すること
- ⑥目標達成の為に「緊張感」と「明るさ」があること

今後の県大会・九州大会・全国大会の開催予定地

年度	熊本県大会	九州大会		全国大会	
令和 3 年度	中止 (新型コロナウイルス)	第 60 回	大分県 (大会誌発行)	代替式典 (オンライン)	
令和 4 年度	荒尾市	第 61 回	鹿児島県 (大会誌・DVD 発行)	第 7 回	福井県
令和 5 年度	天草	第 62 回	福岡市	第 8 回	愛媛県
令和 6 年度	宇城・宇土	第 63 回	宮崎県	第 9 回	秋田県
令和 7 年度	山鹿	第 64 回	沖縄県	第 10 回	東京都
令和 8 年度	熊本市 (70 周年記念大会)	第 65 回	福岡県		
令和 9 年度	※令和 9 年以降調整	第 66 回	長崎県		
令和 10 年度		第 67 回	佐賀県		

本の紹介【全育連】より



あたらしい
ほうりつの本
(2018 改訂版)

障がいのある人が地域で暮らしていくために必要なサービスをライフステージごとと分かりやすく紹介

¥1,320 (税込)



ひとりたち
(2021 改訂版)

ひとりたちを目指すための生活や仕事など世の中のしくみを知る手引きになる本

¥1,320 (税込)

《在庫あります》購入をご希望の方は、県育成会事務局までお知らせください。その他、これまでに発刊した書籍も購入できます。

パンフレットが必要な方、内容を詳しく知りたい方は、県育成会事務局又は各地域の育成会にご連絡ください。

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会 会員の皆さまへ
手をつなぐ暮らしのおたすけプランは全国各地にある各市区町村の育成会の会員とその家族のみに加入できます。詳細は「手をつなぐ暮らしのおたすけプラン」をご覧ください。

親あるときの万が一に備える
手をつなぐ暮らしのおたすけプラン

障がいのある方とご家族、
ご本人を支える支援者をお守りする所得補償保険です

保障期間 令和2年7月1日午後4時から 令和3年7月1日午後4時まで 1年間
加入申込 令和2年6月20日までにWEBにてお申し込みください。
※保障期間満了後も継続して加入可能です。
加入手続きの翌月の1日から 令和3年7月1日午後4時まで
※「重要事項説明書」を必ずご確認ください。
※WEB(専用サイト)にアクセスいただき、お申し込みください。
※加入方法 クレジットカード決済・月払

引渡保険会社 日立キャピタル損害保険株式会社(幹事)
損害保険ジャパン株式会社(非幹事)

「手をつなぐおたすけプラン」
(所得補償) 加入募集

図書館に育成会の本をリクエスト

お住いの地域にある図書館へ、育成会の本を収蔵してもらいましょう。「手をつなぐ」をはじめとする育成会の本が図書館へ収蔵されることは、知的・発達障害の理解啓発活動として有効です。

《手順》

- ① 在住地の図書館へ蔵書購入制度(リクエストサービス)があるかを確認
- ② 在住地の図書館へ出向き、リクエスト用紙を入手、図書名を記入して提出

熊本県手をつなぐ育成会大会 荒尾市大会 (概要)

<期日> 令和4年7月24日(日)
13:00~15:30
<会場> 荒尾総合文化センター

令和元年(2019年)に開催した第6回全育連全国大会熊本大会から3年ぶりの県大会を荒尾市で開催します。新型コロナウイルス感染症の影響で集合形式とオンライン配信を併用して行います。大会スローガンにある「新型コロナに負けない地域づくり」を会員や本人の皆様と一緒に考える機会にしましょう。



<内容> ※YouTube配信を併用

- 1 開会式
 - ・主催者挨拶
 - ・表彰並びに絵手紙コンテスト入賞・入選作品紹介
- 2 記念講演 講師 全国手をつなぐ育成会連合会
常任理事兼事務局長 又村 あおい様

<本人部会> 意見発表「きいてよ 私の気持ち」(オンライン)

<その他> 地域育成会・事業所からのビデオメッセージ (YouTube)

令和4年度 知的障害者相談員

No.	圏域	市町村	氏名
1	熊本	熊本市	堅島 陽子
2	熊本	熊本市	中村 淳子
3	熊本	熊本市	若松 真由美
4	熊本	熊本市	山本 博子
5	熊本	熊本市	高木 真子
6	宇城	宇土市	塘端 博子
7	宇城	宇城市	北島 和子
8	上益城	益城町	玉作 恵子
9	上益城	御船町	甲斐 武子
10	上益城	甲佐町	本田 真由美
11	上益城	山都町	吉川 勲
12	菊池	菊池市	崎村 弥生
13	菊池	合志市	森 泉
14	菊池	大津町	北村 豊子
15	有明	玉名市	井本 臣哉
16	有明	玉名市	宮 貴美代
17	有明	荒尾市	中川 さおり
18	有明	荒尾市	中嶋 真也

No.	圏域	市町村	市町村
19	有明	南関町	北山 貴久子
20	有明	和水町	嶋添 由理子
21	鹿本	山鹿市	島山 耕平
22	阿蘇	高森町	二村 真純
23	阿蘇	西原村	廣瀬 るみ子
24	阿蘇	小国町	綿貫 美香
25	八代	八代市	庄野 末藏
26	八代	八代市	小嶋 ひろみ
27	八代	八代市	樽海 哲子
28	八代	八代市	村山 紀美子
29	芦北	芦北町	岡部 初美
30	芦北	津奈木町	開田 いつみ
31	球磨	多良木町	吉田 みさ子
32	球磨	あさぎり町	福田 加代
33	天草	天草市	櫻田 由布子
34	天草	天草市	猪口志 真由美
35	天草	天草市	嶋津 美千代

※今年度の知的障害者相談員の方々です。連絡先等は、各市町村の担当窓口にお問い合わせください。





いっしょに、明日へ。

誰もが同じように、笑顔で暮らせる毎日へ。
 そのため大切なことは、みんなで、支え合って、助け合って、
 みんなで、一緒に、進んでいくこと。
 暮らしのさまざまな場面での支援を通じて、
 私たちJA共済も、できることをひとつずつ。

ずっとつづく、絆をつくらう。



JA共済は、日本障がい者スポーツ協会のオフィシャルパートナーをつとめるとともに、交通事故被害者等の社会復帰を支援するため、「リハビリテーションセンター」の開設や「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。



地域育成会から

ひとよし手をつなぐ育成会

ひとよし手をつなぐ育成会は、昭和 35 年に「手をつなぐ親の会」としてスタートしました。平成 19 年に解散しましたが、平成 20 年 6 月に新たに発足し、活動を続けています。令和 2 年 7 月の水害やコロナウイルス感染症の影響で、活動が大きく制限されていますが、今年度は、3 年ぶりにみんなで集まって定期総会を開催することができました。

主な活動としては、例会を 2 か月に 1 回実施し、行事の計画や情報交換を行っています。本人活動では、レクリエーションや親子研修旅行を実施しています。昨年は、親子で「栗拾い体験」をしました。初めて栗拾いをされる方も多く、秋晴れの下みんな集中して栗を拾い、楽しい時間を過ごすことができました。また、レクリエーションで「風船パレー」や、「ペタンク」も実施しました。

会員の高齢化や、会員数の減少など課題はたくさんありますが、今できることをみなさんと一緒にがんばっていきたいと思っています。



【主な活動】

4 月	定期総会	9 月	親子研修 (栗拾い)
5 月	レクリエーション	10 月	例会
6 月	交流会・例会	11 月	親子研修旅行
7 月	育成会県大会	12 月	例会
8 月	例会	2 月	親睦会・例会

育成会事業所紹介

ふれあいワーク(就労継続 B 型)



社会福祉法人わくわく「ふれあいワーク」は、熊本市北区龍田にある就労継続 B 型事業所です。

1994 年にてんかんを持つ障害児のご家族が、共同作業所として立ち上げ、今年で 28 年になります。

利用者さんの作業は多岐にわたり、利用者さんのご希望に沿って作業を選んでもらいます。選択肢の幅が多いことが作業の意欲や自信に繋がっているように感じています。

毎月 20 日は給料日ですが、「ボーナスで家族を焼き肉屋に連れて行く」「給料日には弟にジュースを買って帰る」という頼もしい話も聞かれています。



天草市立本渡中学校

本校は、全校生徒744人、通常学級21クラス、特別支援学級4クラスの天草市の中心部に位置する学校です。知的障がいの教育課程で取り組んでいる地域と連携した学習について紹介します。



バラモン凧

天草の伝統工芸の一つであるバラモン凧作りに、天草凧の会の協力を得ながら取り組みました。デザインを考え、骨組みにもチャレンジし、丁寧に彩色をして仕上げました。完成後に凧揚げをした際は、風によって校舎より高く上がりました！

グラウンドゴルフ



地域の方に教えてもらいながら、グラウンドゴルフにチャレンジしました。1回目の交流は緊張した面持ちでしたが、2回目の交流では、「前回より少ない打数でゴールする」など目標設定して取り組む姿やナイスショットを一緒に喜ぶ姿がありました。

こっぱ・こっぱもち



天草の伝統料理であるこっぱもち作りに地域の方のご指導をいただきながら取り組みました。収穫した芋を切ってゆでて、わらにとおし、2週間ほど乾燥をさせてこっぱが完成！蒸して細かくしたこっぱともち、砂糖を混ぜてこっぱもちにしました。



特別支援学級・特別支援学校紹介

熊本県立荒尾支援学校

本校の開校は昭和54年、小学部24人、中学部5人の計29人の児童生徒と職員17人でのスタートでした。今年度の在籍数は小学部58人、中学部38人、高等部68人の計164人の児童生徒と職員は90人です。開校から43年を経て、ずいぶん大きな学校になりました。深刻な過密狭隘化を解消すべく、本校は平成23年5月に策定された「県立特別支援学校整備計画」に基づき、令和5年度に高等部一般学級を熊本県立岱志高等学校内に移転します。

本校では20年以上前から、「ボランティア共生大学」や「ハートフルシンポジウム」といった活動を通して、地域にお住まいの方々や関係機関の方々との連携を深める取組を行ってきました。その結果、本校の子どもたちを理解・応援して下さるたくさんの方々に会い、そして現在も温かく支えていただいています。このことは本校にとっての大きな財産の一つです。

今回の高等部移転においても、移転後にはこれまで以上に様々な活動を通して様々な方々と触れ合いながら、学び合い、認め合い、高め合う活動を多くしていきたいと考えています。その過程で、生徒自身が主体的に関わり、感じ、考え、自ら拓いていく力をつけていきたい。仲間と共に生きる豊かな社会に自ら参画する力をつけていきたい。新たな高等部の姿として、そのような夢を描いています。新たな一歩を踏み出す本校を、引き続き御支援くださいますよう、今後ともよろしく願いいたします。



5月17日に実施した高等部体育大会の様子

なかま

宮崎みさえさん (天草市 南海寮)

昭和 36 年 8 月 5 日生 (59 歳)

宮崎みさえさんは障害者支援施設「南海寮」に入所され、約 30 年間生活されています。

みさえさんは好きなことや好きなものが沢山あります。ここ数年のブームは「ネコ」と「かえる」で、部屋にはネコとかえるをかわいく飾り、ご本人お気に入りの場所のようです。また、季節に合わせて飾りつけするのも楽しみにされています。

その他好きなことは、旅行や忘年会等の各種イベントの参加はもちろんですが、イラストを入れてメッセージを書きプレゼントすることやカラオケ（昭和歌謡、童謡何でもOK）、動物の番組を見ること、そしてお喋り上手、話題は尽きません。

手先も器用で折り紙が得意です。「奴さん」や「風船」「鶴」等を色とりどりの千代紙で作られています。それらを活かして皆に紹介できたらと言うことで、グループ学習で季節の壁面飾りを作ることになりました。

ひまわり、打ち上げ花火、クリスマスシーズンにはサンタクロースとトナカイ、その他様々な大作ができ、玄関ホールや廊下などに展示しています。みさえさんも皆さんに見ていただけることが大変うれしいようです。

次は何を作ろうか？みさえさんに聞いて取り組みます。



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

- 病気やケガが絶えない…
- 成人病や生活習慣病に備えたい…
- 他人の物を壊してしまった…
- 虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぞんちの
あんしん保険
少額短期損害保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

知的障がい・
発達障がい、ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

特別支援教育を必要とされている方へ

ぞんちの
こども傷害保険
権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート


弁護士が
全面的に
サポート

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合は、ぞんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

[2022年5月作成 22-TC00934]

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
0120-322-150 平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

 **ぞんち共済株式会社**
関東財務局長(少額短期保険)第14号

こころやからだの不調に気づいていますか。

こころに感じるサイン

- 気分が重く沈む
- 何をやっても楽しくない
- 考えがまとまらない

体調にあらわれるサイン

- 身体がだるい
- 眠れない
- 食欲がない
- 頭が重い

気づいてください。 あなたのそばにあるSOS

県内には、こころの健康、経済問題、仕事問題などに関するさまざまな相談窓口があります。家族や周りの人だけで相談することもできます。

一人で悩まず、家族だけで抱え込まず、まずは、一度相談してみませんか。

こころの健康に関するご相談



電話相談

熊本県精神保健福祉センター 096-386-1166

午前 9:00~午後 4:00 月~金（祝日・年末を除く）

熊本いのちの電話

096-353-4343

年中無休 24 時間

熊本市こころの健康センター 096-362-8100

午前 9:00~午後 4:00 月~金（祝日・年末を除く）

熊本こころの電話

096-285-6688

毎日 午前 11:00~午後 6:30

午後 7:00~午後 10:00(7月から延長)

SNS 相談

熊本県では、令和4年度から SNS による相談を開始することとしており、現在、準備を進めています。LINE の友達登録をすれば、気軽に相談ができるようになります。

運用開始については、県のホームページ等でお知らせします。

今しばらくお待ちください。

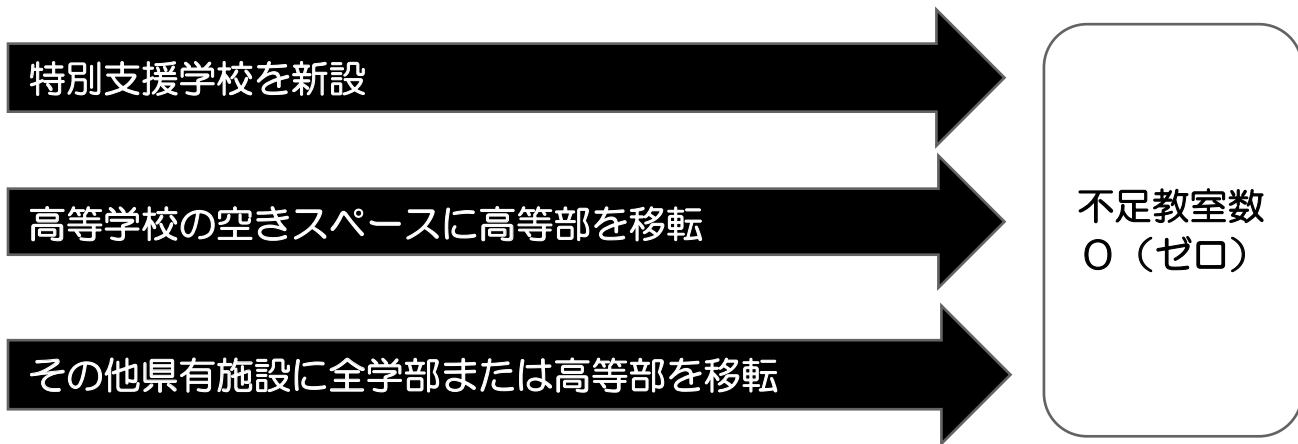
県立特別支援学校における教室不足解消に向けた整備について

日頃から本県教育への御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

報道等でご存じの方も多いと思いますが、特別支援学校における教室不足については、全国的な課題となっています。

	R1 年度	R3 年度
全国の不足教室数	3162 室	3740 室
熊本県の不足教室数	243 室	181 室

本県では、全国に先駆けて平成 30 年度に策定した「**県立特別支援学校整備計画【改定版】**」に基づき、SDGs にも示されている質の高い教育を子供たちに提供できるよう教室不足や過密狭隘（きょうあい）化の著しい知的障がい特別支援学校について整備を進めています。



これからも、すべての子供たちに、安全安心で充実した学習環境をとどけるために整備を進めていきます。今後も御理解と御支援をよろしくお願い致します。



学校名	整備内容	年度
熊本はばたき高等支援学校	新設	R1
鏡わかあゆ高等支援学校	新設	R3
かもと稲田支援学校	新設	R3
天草支援学校高等部	天草拓心高校本渡校舎へ移転	R4
松橋西支援学校高等部	松橋高校へ移転	R5
荒尾支援学校高等部	岱志高校へ移転	R5
球磨支援学校（全学部）	多良木高校跡地へ移転	R6
大津支援学校高等部	敷地内一部建替え	R8
菊池支援学校高等部	肥後学園跡地へ移転	R8

※ R5 年度以降は現時点での予定となっており、変更の可能性があります。

<<お問合せ>>
 熊本県教育委員会
 特別支援教育課 西村・北坂
 電話：096-333-2676





心のともし運動・実践紹介

宇城市立小川小学校

小川小学校では、毎年一月から二月にかけて「心のともし運動」に取り組んでいます。自立活動の時間に、四つのなかよし学級合同で、鉛筆販売のための準備をします。

たくさんの人が「心のともし運動」に協力してくれるように、お知らせのポスターを作る係や放送係、申込用紙を入れる袋を作る係などを決め、分担します。買ってくれた人へのプレゼントとして、令和3年度は落ち葉のしおりとどんぐりトトロをみんなで作りました。鉛筆を買ってくれた人が喜んでくれるようにと、心を込めて丁寧に作りました。

そのかいあって、小川小学校ではたくさんの子どもたちが、鉛筆一本、消しゴム一個というように、協力してくれました。昨年に続き新型コロナウイルス感染症防止のために対面販売ができなかったのは残念でした。



気持ち切り替え、いよいよ仕上げ作業です。注文してくれた一人一人の封筒に間違えないように品物を入れ、最後にお礼のシールを貼りプレゼントをつけ加えました。

そして、交流学級のクラスにたくさんの商品を届ける日です。たくさんの商品を抱えて各学年の教室に持っていく時の子どもたちの得意げな顔。配る側も受け取る側もにこにこ笑顔。なかよし学級の子どもたちは鉛筆をたくさん販売して自分たちも人の役に立てたという達成感と、みんなで協力して楽しかった！という満足感でいっぱいでした。



心のともし運動

県育成会では、鉛筆・赤鉛筆・ペンシル・ペンシルの芯・消しゴム・マーカー・ペンを販売する「心のともし運動」を行っています。

この運動は、知的障がいのある人に対する理解を深め、育成会活動に参加していただくという大きな目的があります。販売による収益の一部は、各地域育成会の活動資金になります。

積極的にこの運動に参加され、活動の輪を広げてくださるようお願いいたします。

令和4年度

社会福祉法人 熊本県手をつなぐ育成会 評議員・理事・監事

【評議員】

役職	氏名	所属
評議員	中村 立行	学識経験者
評議員	中村 敬子	学識経験者
評議員	武元 典雅	施設協会会長(学)
評議員	北島 和子	宇城育成会
評議員	山口 幸明	長洲町育成会
評議員	谷口 建太	玉名市育成会
評議員	新 浩二	天草白い雲の会
評議員	上野 希久代	宇土市育成会
評議員	片山 直広	山鹿市育成会
評議員	坂本 敦子	熊本市育成会
評議員	中原 長美	八代育成会
評議員	甲斐 純代	学識経験者
評議員	宗像 千登世	ひとよし育成会
評議員	永田 文子	こすもす園家族の会

【理事】

役職	氏名	所属
会長	川村 隼秋	学識経験者
副会長	西 恵美	熊本市育成会
副会長	堤田 照一	天草白い雲の会
副会長	鶴田 由美	県特研会長(特)
常務理事	甲斐 憲彦	事務局長(特)
理事	沼田 宗生	熊本こすもす園長(特)
理事	石田 浩一	芦北郡育成会
理事	高橋 次郎	熊本市育成会
理事	作本 弘美	宇城市(特)
理事	田上 明利	山鹿市育成会
理事	藁田 保	八代育成会
理事	有働 悦久	菊池圏域育成会
理事	中嶋 真也	荒尾市育成会

【監事】

役職	氏名	所属
監事	仲次 利光	税理士
監事	服部 法義	元福祉施設長



令和4年度 地域育成会一覽



会 名	代表者名	郵便番号	連絡先(事務局等)住所	電 話 F A X
熊本市 手をつなぐ育成会	西 惠美	860-0004	熊本市中央区新町 2 丁目 4 - 27	096-352-0010 096-352-1459
八代 手をつなぐ育成会	蓑田 保	866-0084	八代市植柳新町 2 丁目 26-3	0965-32-2550 0965-32-2550
山鹿市 手をつなぐ育成会	栗川 亮一	861-0501	山鹿市中 619-3 もくせい学園	0968-44-7647 0968-44-7664
玉名市 手をつなぐ育成会	作本 幸男	865-0003	玉名市溝上字田代 527-1 WAKABA	0968-74-1628 0968-86-8617
ひとよし 手をつなぐ育成会	宗像千登世	868-0086	人吉市下原田町羽田 340-2	0966-24-1685 0966-22-6399
宇土市 手をつなぐ育成会	井上 みか	869-0442	宇土市城之浦町218	0964-53-9920 0964-53-9920
宇城 手をつなぐ育成会	北島 和子	869-0502	宇城市松橋町松橋 1926-5	0964-33-0366 0964-33-0366
荒尾市 手をつなぐ育成会	中川さおり	864-0015	荒尾市平山1637	090-7580-3967 0968-66-3740
天草白い雲の会	堤田 照一	863-0002	天草市本渡町本戸馬場2179-1 天草本渡青年会議所内	0969-24-0718 0969-24-0723
芦北郡 手をつなぐ育成会	石田 浩一	869-5442	芦北郡芦北町大字花岡1702-13	0966-82-3560 0966-82-3560
菊池圏域 手をつなぐ育成会	有働 悦久	869-1207	菊池市旭志新明699-2 就労支援センターふくとく	0968-37-3772 0968-37-3782
玉名郡 長洲町 手をつなぐ育成会	山口 幸明	869-0105	玉名郡長洲町清源寺3246 ひまわりの里	0968-78-0589 0968-85-7755
熊本こすもす園家族の会	永田 文子	861-4301	宇城市豊野町糸石2600-1 C-2	090-3419-4158
玉名郡 玉東町 手をつなぐ育成会	溝邊 聖二	869-0311	玉名郡玉東町二俣72 るびなす	0968-84-7858 0968-84-7858
山鹿市 手をつなぐ育成会 山鹿分会	田上 明利	861-0501	山鹿市山鹿1328-1 山鹿ゆうあい園	0968-43-8518 0968-43-8518
山鹿市 手をつなぐ育成会 鹿本分会	富田 徹也	861-0331	山鹿市鹿本町来民 1267 番地 1 鹿本中学校	0968-46-2076 0968-42-3040
山鹿市 手をつなぐ育成会 菊鹿分会	田中 由紀	861-0406	山鹿市菊鹿町下内田 485 番地 菊鹿中学校	0968-48-2034 0968-48-3194
山鹿市 手をつなぐ育成会 米野岳校区分会	帆足 岸子	861-0535	山鹿市鹿央町岩原 1350 番地 米野岳中学校	0968-36-3151 0968-36-3152
山鹿市 手をつなぐ育成会 鹿北分会	酒井 洋史	861-0601	山鹿市鹿北町四丁 1464 番地 鹿北中学校	0968-32-2019 0968-32-3797
上益城郡 益城町 手をつなぐ育成会	濱田 龍郎	861-2235	上益城郡益城町福富772 九州ラーメン党そよかぜ福祉作業所	096-287-8223 096-287-8230

こんにちは！ 地域育成会・事業所の新しい顔を紹介しします (No.1)



令和4年度より、玉東町にあり
ます多機能型施設るびなすの運営
を前代表である松井さんより引き
継ぐことになりました、溝邊と申
します。私は、県北地域での活動
経験がないため、育成会を通じて
たくさんの方と繋がり、そして皆さんと手を取り
合いながら育成会の活動に一助できればと思っ
ております。どうぞ宜しくお願いいたします。
玉東町手をつなぐ育成会会長
溝邊 聖二



教職を退職して6年になりました
た。担任していた子どもたちも成
人し、それぞれの道を歩んでいま
す。育成会に携わることで、微力
ながら力添えができないかと思い、
この大役を受けました。よろしく
お願いいたします。
山鹿市手をつなぐ育成会
米野岳中校区分会長
帆足 岸子



令和4年度 全国手をつなぐ事業所協議会 加盟事業所



No.	会名	郵便番号	住所	電話・FAX
1	第二ぎんなん作業所	862-0975	熊本県熊本市中央区新屋敷 3-9-7	096-371-9381 096-371-9381
2	ふれあいワーク	861-8006	熊本県熊本市北区龍田 9 丁目 2-21	096-338-4213 096-338-4213
3	山鹿ゆうあい園	861-0501	熊本県山鹿市山鹿 1328-1	0968-43-8518 0968-43-8518
4	まつの木作業所	869-0532	熊本県宇城市松橋町久具 2440	0964-32-3500 0964-32-3634
5	るびなす	869-0311	熊本県玉名郡玉東町二俣 72	0968-84-7858 0968-84-7858
6	まんさく園	866-0885	熊本県八代市永碓町961-1	0965-31-7440 0965-32-1400
7	白いキャンパス	868-0036	熊本県人吉市二日町 17-1	0966-22-6399 0966-32-7577
8	カムワークたんぼぼ	868-0502	熊本県球磨郡多良木町黒肥地1625-4	0966-42-6114 0966-42-6114
9	のぞみ作業所	863-0022	熊本県天草市栄町4-13	0969-22-7485 0969-22-7485
10	みのり	866-0802	熊本県八代市妙見町2377-3	0965-30-0701 0965-30-0702
11	花梨の家 わがんせ	864-0041	熊本県荒尾市荒尾1694-1	0968-62-1175 0968-62-1175
12	アート工房 クレヨン森	868-0302	熊本県球磨郡錦町一武2196-2	0966-38-2435 0966-38-2435
13	WAKABA	865-0003	熊本県玉名市溝上字田代527番地1	0968-74-1628 0968-86-8617
14	カサ・チョコ	861-4171	熊本県熊本市南区御幸西2-659-3	096-223-8710 096-223-8711
15	サンシャインワークス	861-1115	熊本県合志市豊岡2000-1653	096-248-7273 096-248-7274
16	就労支援センター ふくとく	869-1207	熊本県菊池市旭志新明 699-2	0968-37-3772 0968-37-3782
17	菊池ひまわりの会	861-1324	熊本県菊池市野間口 567-4	0968-25-5141 0968-25-5141
18	そよかぜ福祉作業所	861-2235	熊本県上益城郡益城町福富 772	096-287-8223 096-287-8230
19	なずな工房	861-4151	熊本市南区富合町清藤 88-2	096-358-0023 096-243-0727
20	就労支援センターくまもと	861-5535	熊本市北区貢町 780-8	096-288-1752 096-288-1753
21	こまちの森	861-0125	熊本市北区植木町小野 128	096-273-2705 096-273-2705
22	八代農林	866-0005	熊本県八代市郡築八番町 75	0965-46-5770 0965-46-5771
23	もやいの丘	861-8045	熊本県熊本市東区小山2丁目27-13	096-349-0206 096-349-0207

こんにちは！

地域育成会・事業所の新しい顔を紹介します (No.2)



4月から第二ぎんなん作業所の施設長をしております守尾祐一です。作業所がある新屋敷は、私が生まれ育った所でもあり、ここで働けることにとても縁を感じています。皆様と力を合わせながら「魅力ある作業所」を作り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

第二ぎんなん作業所施設長
守尾 祐一



令和3年9月1日より事務局長を拝命いたしました鶴田政文と申します。皆さんの活動に接していると手をつなぐ育成会の活動は社会に無くてはならない活動と思っております。手が行き届きませんがよろしくお願いたします。

熊本市手をつなぐ育成会
事務局長 鶴田 政文



もぐらたたきゲーム



手作りの応援ボード

熊本こすもす園生活介護事業所より

e スポーツ 初体験！

令和 4 年 5 月 11 日(水)、熊本こすもす園生活介護事業所利用者 8 名がオンラインゲームを初めて体験しました。

対戦相手は初めてお会いする熊本市のデイサービス事業所のみなさん！普段から練習しておられるということで強豪ぞろいでしたが、接戦となり選手も応援団も大盛り上がりでした。結果は…6 対 3 で勝利しました！！

コロナ禍でイベントや交流会が減っている状況ですが e スポーツは年齢や障害に関係なく簡単な操作で楽しむことができます。また、コントローラーやマットで手足を動かすことによりリハビリや脳トレにもなり、健康増進の効果が期待されています。

オンラインで対戦できることも魅力のひとつで、将来は世界の方と対戦できるのではと夢が広がります。

様々な方と交流できるのを楽しみに練習に励みたいと思います！



トロフィーと応援旗



落下ボール
たたきゲーム

県庁内喫茶店 「ふれあい喫茶いんどう」から

「ふれあい喫茶 りんどう」のご利用ありがとうございます。昨年、20周年となる節目として「開店20周年記念感謝の会」を予定しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。ご出席予定の皆様には感謝申し上げますとともに、今後ともお力添えを賜りますようお願いいたします。

交流スペースには、絵画や写真など展示していますが、今年の4月から6月中旬までは、「NPO 法人山鹿ゆうあい園」のさをりを展示しました。編む人の個性が表現された作品に見入ってしまう方も多かったと思います。これからもいろいろな展示を行う予定ですのでご期待ください。

新型コロナウイルスの終息を願うばかりですが、県の認証店として店内の感染拡大防止に努めています。お昼のランチはもちろん、コーヒータイムのご利用もお待ちしています。コーヒーデリバリーサービスもご利用ください。



お食事

日替わりランチ
550円



★ コーヒー券 11枚綴 3,000円

★ コーヒー デリバリーサービス

1ポット (約20杯) 2,500円

フレンドコーヒー 350円

炭焼きコーヒー 350円

アメリカンコーヒー 350円

令和3年度 熊本県手をつなぐ育成会事業実施概要報告

Calendar of events from April to March, including meetings, conferences, and activities. Columns include month, event name, and date.

法人本部会計貸借対照表

令和4年3月31日現在

Balance Sheet table with columns for assets (流動資産, 固定資産) and liabilities (流動負債, 固定負債), and a section for net assets (純資産).

法人本部会計資金収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

Statement of Financial Activities table with columns for income (会費収入, 寄附金収入) and expenses (人件費支出, 事務費支出), ending with a net change in funds.

お知らせ

(令和4年度後期行事予定)

- 9月 九育連役員会② (鹿児島市・8日・木) 第3回理事会 (15日・木) 臨時評議員会(9月開催・予定) (29日・木) 知的障害者相談員研修会 (未定・県庁) 第61回九州地区手をつなぐ育成会 (未定・県庁) 鹿児島大会(大会誌・DVDの発行) 県行政施策に関する要望書提出 熊本県特別支援教育研究会
- 10月 夏季研修会(HPによる開催) 第21回 全国障害者スポーツ大会 (栃木県・29日・土〜31日・月) 内部経理監査(前期) (未定・こすもす園) 要望書に関する意見交換会 (特別支援教育課・障がい者支援課・未定) 第41回全国アピリンピック (東京・4日・金〜6日・日) 全国手をつなぐ育成会連合会 (福井市・20日・日) 全国大会福井大会(福井市・20日・日) くまもと障がい者芸術展 (22日・火〜27日・日) 障がい者週間 (3日・土〜9日・金) 第4回理事会 (2日・金) 臨時評議員会(12月開催・予定) (15日・木) くまもとハートウィークフォーラム (未定) 全国育成会権利擁護セミナー (未定) JA植木祭りへの出店 (未定) 九育連役員会③ (未定・鹿児島市) 事業所協議会研修会 (15日・水) 全国手をつなぐ事業所協議会全国大会 (未定) 育成会代表者及び事務局長合同会議 (東京・オンライン) 全国育成会フォーラム・行政説明 (東京・オンライン) 内部経理監査(後期) (未定・こすもす園) 第5回理事会 (10日・金) 臨時評議員会(3月開催・予定) (16日・木)

元氣の出る情報・交流誌 「手をつなぐ」購読のご案内

「手をつなぐ」は、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発刊する機関誌です。

知的障がいのある人の生活に関する問題や福祉施策の最新情報から、全国各地の先進的な取り組み、著名人によるエッセイなど暮らしに役立つ情報が満載です。是非ご一読ください。

各地域育成会で十冊以上まとめて購入いただくと、地区助成費があり、活動資金となります。

御寄附いただきました

全国共済農業協同組合
連合会熊本県本部 様

浅川 信治 様

川村 隼秋 様

西 惠美 様

山口 幸明 様

甲斐 憲彦 様

厚くお礼申し上げます。

賛助会員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 川村 隼秋 | 沼田 宗生 | 藤山 浩二 | 松本かおる | 北岡 真利 | 山田 敏也 | 叶田 宏一 | 島田 幸喜 | 中吉 良太 | 喜讀 浩太 | 北園 智哉 | 有岡 航太 | 足立 安隆 | 川田和歌子 | 高濱智重巳 | 麥生田直子 | 竹田なつみ | 中原裕久子 | 山岡まゆみ | 城下 詩織 | 原田 聖子 |
| 永野健太郎 | 後藤 浩史 | 榎谷奈緒美 | 坂田 茂 | 坂口 歩美 | 木村 淳樹 | 鹿山 仁 | 飯田 美喜 | 飯田 カシ子 | 吉山 尚吾 | 石原 浩平 | 今田 真理 | 伊藤 澄江 | 橋口 元 | 中川 恵里 | 坂本 浩子 | 尾田 良子 | 坂梨 正男 | 内田百合子 | 村上ちえ子 | |

賛助会員募集中!!

知的障がいのある人たちの福祉の向上のために、賛助会員を募集しています。

- ・個人会費 1口 2,000円
- ・団体会費 1口 10,000円

【問い合わせ】 ☎ 096-352-4149



一部 四〇〇円(月刊)
年間購読料 三九〇〇円
※詳しくは、県育成会へ
☎(〇九六) 三五一―四一四九

編集後記

「心をつなぐ」第34号を発刊するにあたり、関係機関・学校及び地域育成会・事業所等の皆様には原稿の執筆にご協力をいただきありがとうございました。

新型「コロナウイルス」感染症の影響で開催を取りやめていた県育成会大会が、3年ぶりに荒尾市で開催できることになり、荒尾市育成会をはじめ関係の皆様には心より感謝申し上げます。今回は、規模を縮小して集合型とオンラインを併用するという初めての試みです。いわゆる「ウイズコロナ」の時代に対応する大会となります。皆様のご協力をお願いします。

例年、熊本県から障がい福祉等についての情報をいただいています。今回は、さらに特別支援学校の整備について、予定も含めて寄稿をいただきました。関係する地域育成会にとっては大変興味深い内容ですので、会員の皆様で話題を共有して今後の方向性に関心を持っていただきたいと思います。

昨年に引き続き、「心のとも運動」に取り組んでいる学校から実践例を紹介していただきました。特別支援学級等と育成会のつながりを深めるうえでも、大変、貴重な寄稿です。これからの地域育成会を活性化させるヒントにしたいだければ幸いです。

本年もよろしくお願ひします。